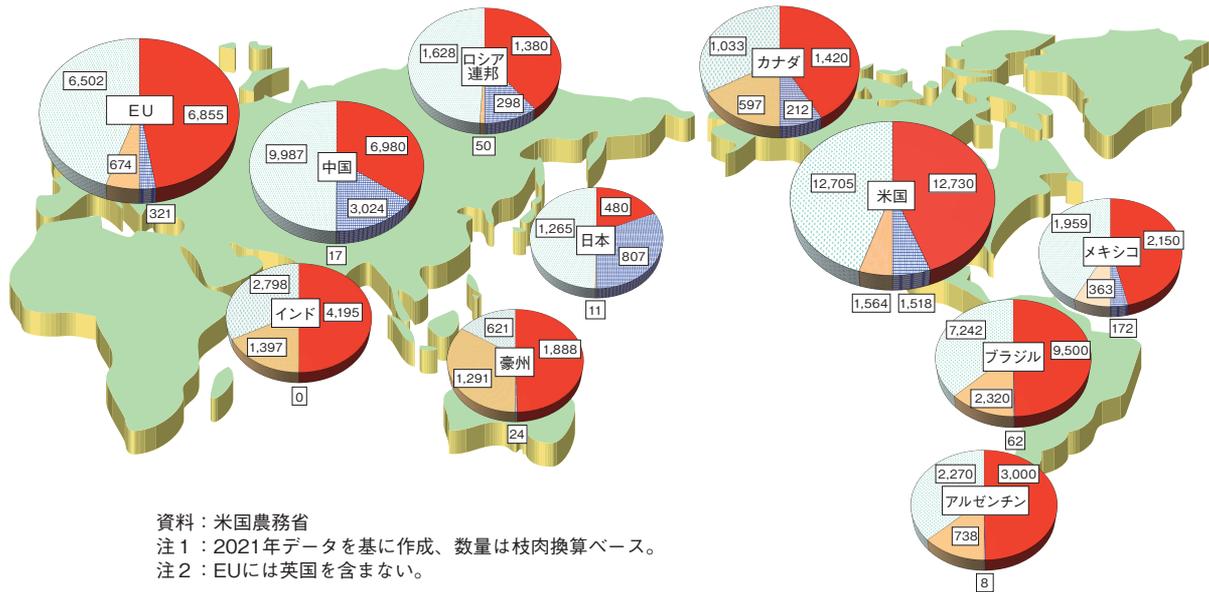


絵で見る世界の畜産物需給

牛肉



■ 消費量(千トン) ■ 生産量(千トン)
■ 輸出量(千トン) ■ 輸入量(千トン)



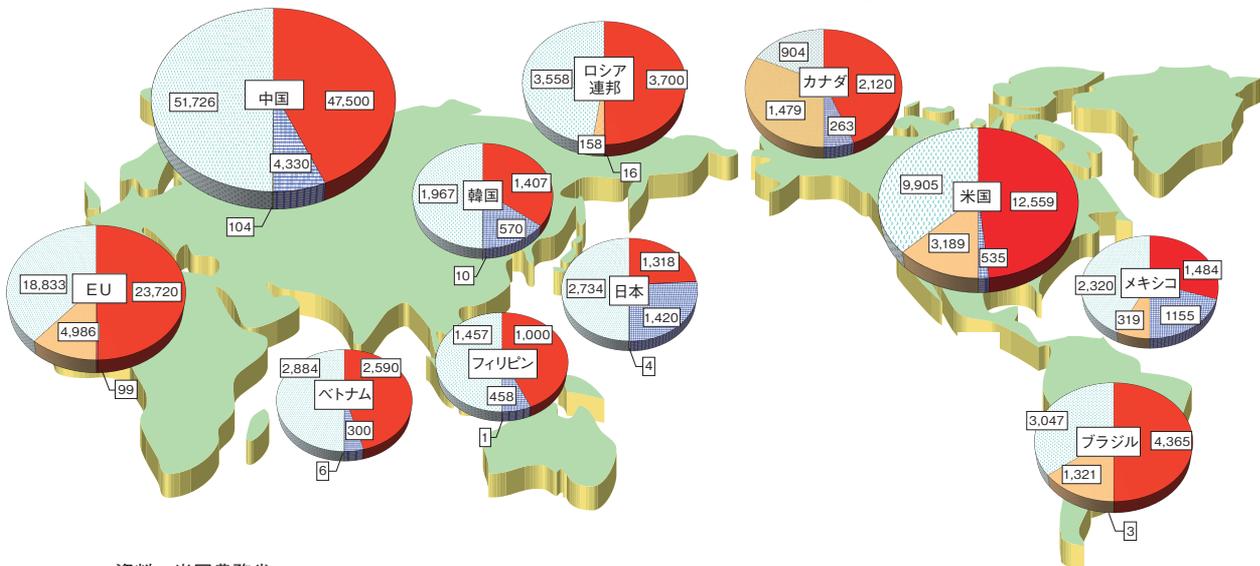
資料：米国農務省
 注1：2021年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。
 注2：EUには英国を含まない。

2021年の世界の牛肉生産量は、7253万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2022年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（1273万トン）、EU（686万トン）などの先進国のほかに、ブラジル（950万トン）、中国（698万トン）、インド（420万トン、水牛肉を含む）、アルゼンチン（300万トン）といった新興国である。牛肉消費量は、米国が世界最大の消費国であるが、中国の消費も増加している。一方、ブラジルやアルゼンチンなど減少に転じたところも存在する。牛肉輸出量は、ブラジル（232万トン）、米国（156万トン）、インド（140万トン）の順に多い。また、日本への輸出量が多い米国や豪州（129万トン）、カナダ（60万トン）の3カ国で全輸出量の約3割を占める。

豚肉



■ 消費量(千トン) ■ 生産量(千トン)
■ 輸出量(千トン) ■ 輸入量(千トン)



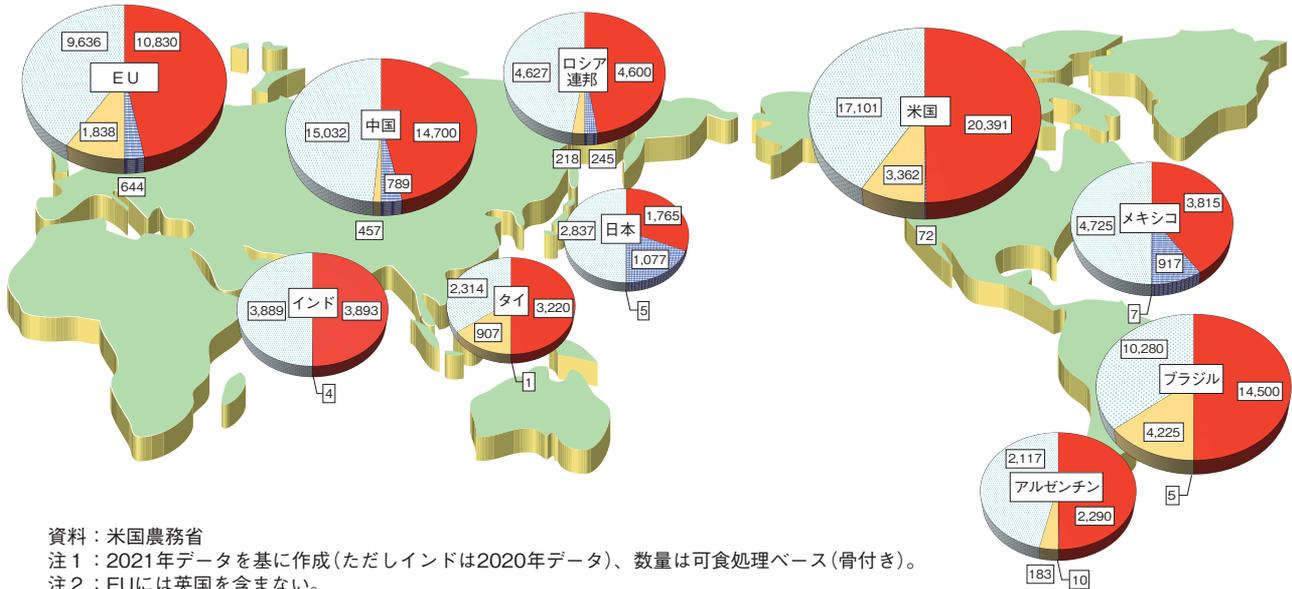
資料：米国農務省
 注1：2021年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。
 注2：EUには英国を含まない。

2021年の世界の豚肉生産量は、1億2251万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2022年6月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、中国（4750万トン）であり、これにEU（2372万トン）や米国（1256万トン）などが続く。EUや米国は生産量に占める輸出量の割合が高く、中国を中心に輸出量を増加させている。その他の国では、経済成長に伴いブラジル（437万トン）、ロシア（370万トン）、メキシコ（148万トン）の生産量が増加している。中国以外のアジア地域では、ベトナム、フィリピン、韓国などの生産量や消費量が多い。日本は生産量が132万トンであるが、消費量のおよそ半分の142万トンを入力している。

鶏 肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
 輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



資料：米国農務省

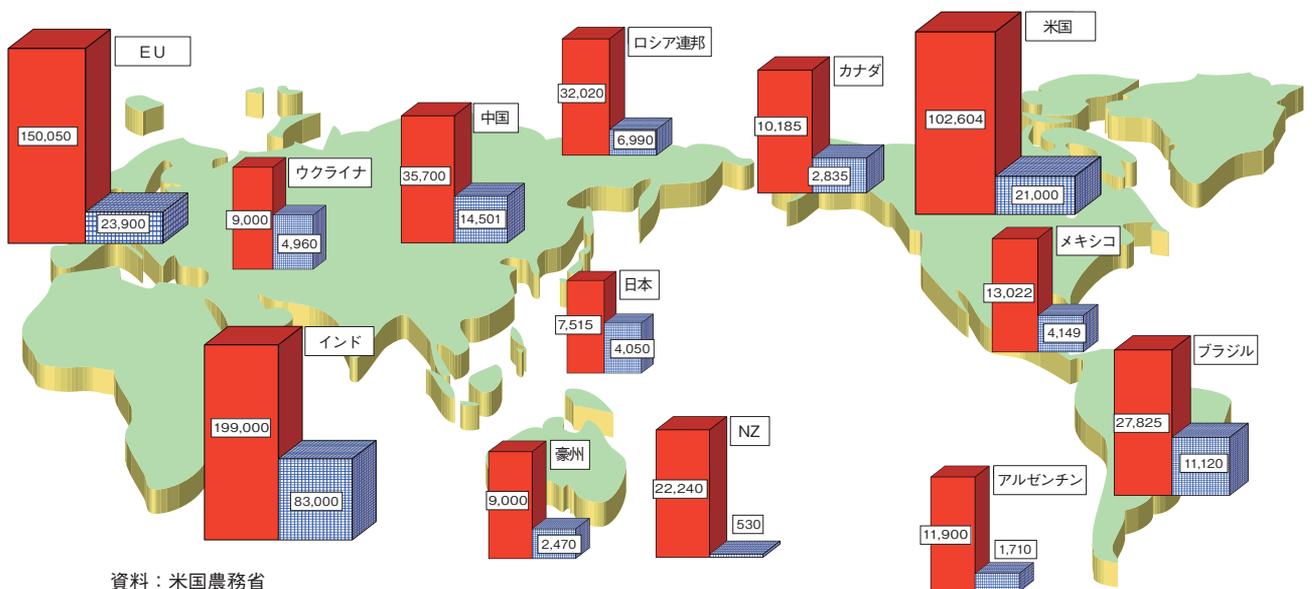
注1：2021年データを基に作成(ただしインドは2020年データ)、数量は可食処理ベース(骨付き)。
 注2：EUには英国を含まない。

2021年の世界の鶏肉生産量は、1億54万トン(骨付き換算ベース、1470万トン FAO Food Outlook、2022年6月)と見込まれる。主要生産国(国別データは米国農務省)は、米国(2039万トン)であり、これに中国(1470万トン)、ブラジル(1450万トン)と続く。このほか、EU(1083万トン)、メキシコ(382万トン)、タイ(322万トン)などで増加している。鶏肉消費量は、米国が最大であり、中国(1503万トン)、ブラジル(1028万トン)なども増加している。鶏肉輸出量は、ブラジル(423万トン)、米国(336万トン)、EU(184万トン)、タイ(91万トン)の順に多く、ブラジルと米国で世界の輸出量の約5割(56%)を占める。

生 乳



生乳生産量(千トン)
 飲用乳消費量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2021年データを基に作成、数量は水牛乳を含む。
 注2：EUには英国を含まない。

2021年の世界の生乳生産量(水牛乳含む)は、9億2780万トン(FAO Food Outlook、2022年6月)と見込まれる。主要生産国(国別データは米国農務省)は、インド(1億9900万トン)、EU(1億5005万トン)、米国(1億260万トン)などであるが、インドは水牛乳が生乳生産量の約5割を占める。地域別に見ると、最近では、インドや中国などの生乳生産量の増加が著しい。2021年の貿易量(輸出量・生乳換算)は8813万トンと見込まれ、その貿易率は9.5%と穀物や砂糖、牛肉、家きん肉などと比べて低い。主要輸出国(地域)は、EU、ニュージーランド、米国、豪州などである。